

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	14168-2
課題名	非侵襲的心電指標、心臓 MRI 遅延造影所見を用いた不整脈患者のリスク層別化に関する研究
研究期間	西暦 2004年 4月 1日 ~ 2014年 3月 31日
研究の対象	2004年4月～2014年4月に当院で心臓 MRI 検査を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：ホルター心電図、心臓 MRI 画像、診療記録） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（）
研究の意義、目的	心臓突然死の多くは不整脈によって生じており、そのなかでも頻度として多いのが心室頻拍と心室細動です。これらの不整脈が発症した場合の治療法については、植込み型除細動器が有効であるとされていますが、どのような患者さんに予防的植え込み型除細動器治療を行うべきかについては、未だに議論があります。そこで、心疾患患者様のホルター心電図や MRI 検査のデータと不整脈イベントの関係を過去に遡って検討させていただき研究を計画しました。
研究の方法	以前、検査させていただいた 24 時間 Holter 心電図や心臓 MRI のデータを再解析させていただき、不整脈の発生頻度や、治療内容などとの関連性を検討させていただきます。これらのデータをもとに不整脈患者様の治療に役立つ有効な指標を見出し、治療へと還元したいと考えております。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東 2-1-1-1 旭川医科大学 循環器内科 担当：佐藤伸之 電話：0166-68-2442</p> <p>研究責任者： 旭川医科大学教育センター・循環器内科兼務 教授 佐藤伸之</p>